

～四国独自の課題について～



平成19年2月7日 永)

四国地方整備局

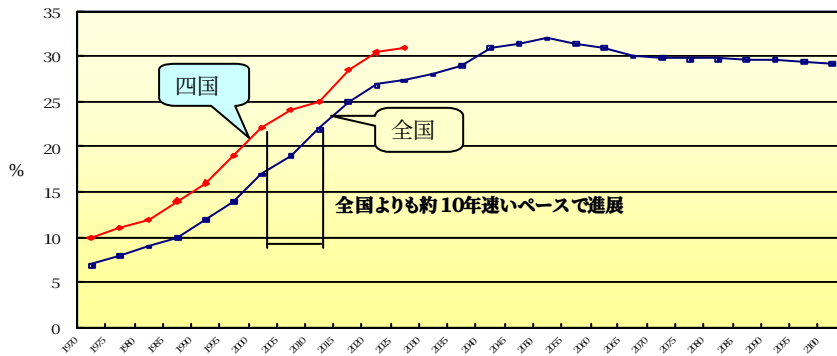
1

I. 全国に先駆けて進む少子高齢化 【少子高齢化】

2

全国に先駆けた高齢化の進展

四国では、全国よりも10年早いペースで高齢化が進展している。



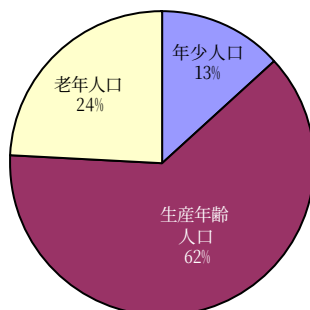
資料) 国立社会保障・人口問題研究所 都道府県の将来推計人口

3

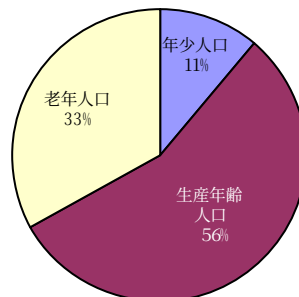
将来人口の構成比の推移（全国と四国との比較）

推計では、四国の老年人口は、2030年に33%、年少人口は11%となり、今以上の少子高齢化が進展することが予想されている。
生産年齢人口は、現在の「3人に2人」から「2人に1人」へと推移。

四国ブロック 2005年 人口構成比



四国ブロック 2030年 人口構成比



資料 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成14年1月)

4

各市町村別の老年人口割合

老年人口割合の特により地域は、主に内陸部に集中している。
都市部ー特に県庁所在地周辺は、老年人口割合が比較的低い。

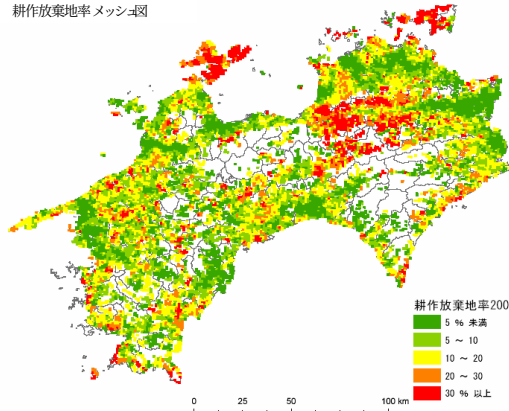


5

過疎化による山村の荒廃：四国の耕作放棄地の推移

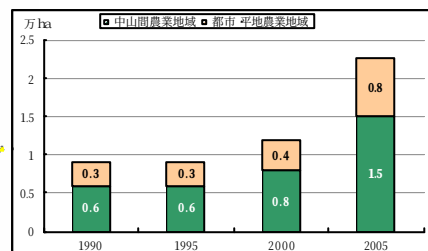
四国ブロックでは、1995年以降、中山間地域や島しょ部における耕作放棄地率が増加している。
今後の人口減少、高齢化の進展などにより、都市縁辺部においては、都市的土地利用の撤退、農村部においては、農業的土地利用の撤退を余儀なくされる場合が考えられる。

耕作放棄地率メッシュ図



出典 2000年農林業センサスデータをもとに
3次1kmメッシュ化作成

耕作放棄地の推移



左図の耕作放棄地の定義：以前に耕作したことがあるが、調査期日前1年以上耕作を継続せず、しかもこの数年間に再び耕作するはっきりとした意思のない土地。

中山間地域や島しょ部での耕作放棄地は耕作条件が悪いこと、農業者の高齢化により、耕作が困難となったための放棄地が多数を占めると考えられる。

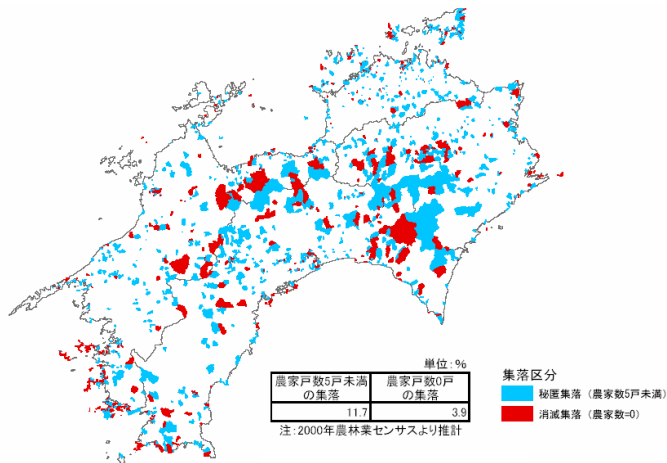
(注) 総農家ベースであり、土地持ち非農家の耕作放棄地は含まない。

出典 農林水産省 農林業センサスをもとに作成
2005年は農林業センサス2005の数値

6

四国の山村：消滅集落等の状況

- ・2000年時点では四国には約 1万集落の農村集落があり、そのうち消滅集落（農家数0）は3.9%、秘匿集落（農家数5戸未満）は11.7%存在している。
- ・これらの集落は、内陸部に多く分布している。



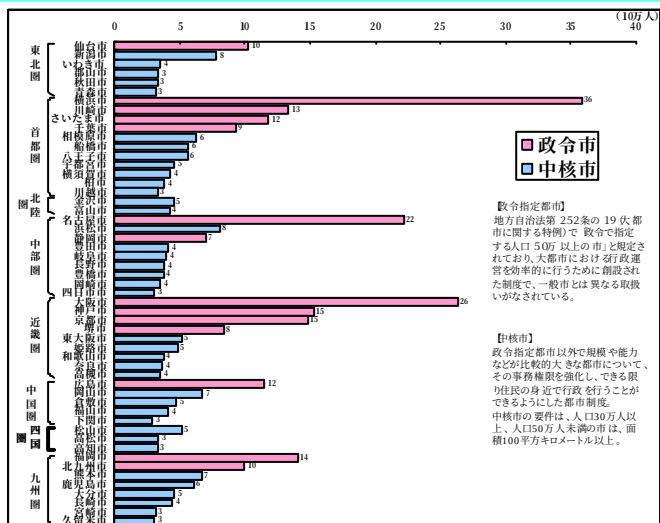
7

II. 自立する四国のための四県の連携 【中核都市がない四国】

8

各地方ブロックにおける政令市・中核市の人口規模

四国では、地方ブロックの核となる政令指定都市が存在しない。
また、四国全体では38市あるが、そのうち中核市は3市しか存在しない。

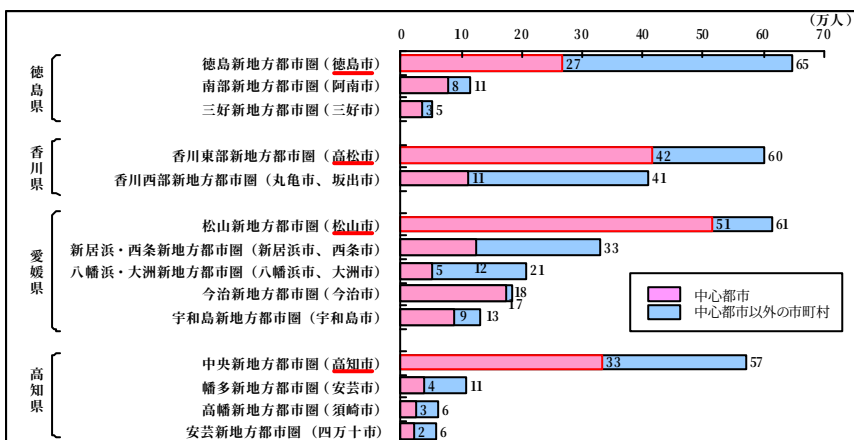


注）東京都特別区部（848万人）は除く。新潟市は平成18年4月1日に政令指定都市に移行予定

9

新地方生活圏及びその中心都市における人口規模

中心都市としては、県庁所在地4都市の人口集積が突出して大きくなっている。
また、中心都市への一局集中型、中心都市以外への分散型など、人口集積からは、生活圏域ごとに多様な都市構造が見られる。



資料）平成17年国勢調査

10

四国の新地方生活圏域

四国の地方生活圏域は、徳島県で3圏域、香川県で2圏域、愛媛県で5圏域、高知県で4圏域、計14圏域が設定されている。
各圏域ごとに、拠点となる都市が1～2都市ある。



11

四国の地方生活圏域の都市機能

地方生活圏域の拠点都市の主要な都市機能をみると、概ね充足している状況がうかがえる。
高知県の安芸、高幡、幡多地方生活圏域では、医療や交通、商業機能が不足している状況がみられる。

	新地方生活圏	拠点都市	公共的サービス					公共交通	医療			商業
			保健所	ハローワーク	税務署	登記所	簡易裁判所		診療科目16科目以上	救急救命センター	救急告示病院	
徳島県	徳島	徳島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南部	阿南市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	三好	三好市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県	香川東部	高松	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香川西部	坂出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		丸亀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛媛県	新居浜・西条	新居浜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	西条	西条市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	今治	今治市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	松山	松山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	八幡浜・大洲	八幡浜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		大洲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高知県	宇和島	宇和島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安芸	安芸市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中央	高知市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高幡	須崎市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	幡多	四万十市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※都市機能については、国土計画局資料「生活圏域の試行的設定に関する調査 報告書 H14.3」に基づく

12

II. 自立する四国のための四県の連携

13

「四国はひとつ」4県連携施策

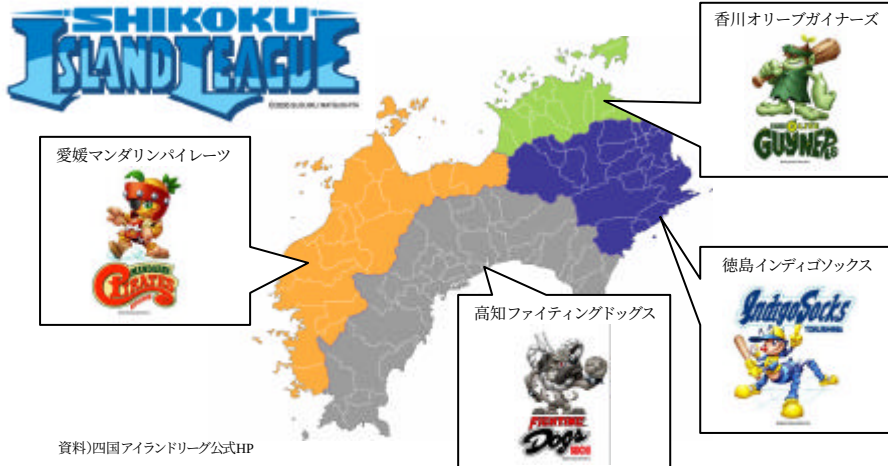
四国4県の一体的で自立した発展を図るため、4県が連携して、様々な分野での広域連携施策を進めている。

分 野	連携施策	分 野	連携施策
観光・P R・イメー ジアップ	いやし・遍路の共同PR	防災・救急	四国4県による衛生環境研究所の連携
	四国観光シンポジウム開催	医療・福祉	高齢者虐待防止四国共同研究会
	グリーン・ツーリズムのメッカとしての四国のPR		看護師養成通信制受講の促進
	国際観光の推進	産業振興	四国4県連携海外商談会事業
	四国SL復活・運行調査	消費者保護	悪質商法被害防止広域ネットワーク
	「四国ブランド」形成基礎調査	連携総合	県有施設等の広域連携に関する検討
文化・スポ ーツ	四国アイランドリーグ優秀選手表彰		
	四国発・発掘へんろ ～遺跡でめぐる四国の埋蔵文化財講演会～		
環境・自然 保護	四国山の日推進事業・四国の森づくり連携促進事業		
	環境教育の合同事業		
	四国における循環型社会構築の検討		
	①四国におけるリサイクル産業の振興		
	②廃棄物税に関する共同歩調の検討		
	③廃棄物処理システムの見直しについて		
	地球温暖化防止活動施策の共同研究		

14

四国四県での連携した取組：四国アイランドリーグ

野球の独立リーグ「四国アイランドリーグ」が2005年に発足。四国各県をフランチャイズとする4チームによって、リーグ戦が開催されている。



15

四国霊場と遍路道の世界遺産登録申請

四国独自の文化として歴史と伝統のある四国霊場88箇所について、世界遺産登録に向けて2006年11月に4県の連携により文化庁へ申請書提出

「四国八十八カ所霊場と遍路道」提案概要

資産概要	四国4県の弘法大師ゆかりの札所霊場八十八カ所をループ状に巡る全長1400kmに及ぶ壮大な寺院巡拝である四国遍路は、古くから一般庶民の間に定着し、それを地域社会が「お接待」と呼ばれる支援により支えており、遍路の基となる「思想・信仰」と実践する「場」とそれを支える「地域」の3者が一体となった「遍路文化」が1000年を超えて継承されている。
目的	八十八カ所霊場を中心とする有形無形の「遍路文化」を人類のかけがえない財産として保存し、その価値を横なうことなく適切に活用するとともに、その意義を全国に、さらには世界へ向けて発信し、人類共有の財産として将来の世代へ継承に引き継いでいく。
効果	①四国霊場八十八カ所の寺院の資産や遍路に関する文化を、世界に向けて発信するとともに、将来にわたり継承・保存することができる。 ②遍路人口の増加や他の世界遺産との交流により、地域活性化を図ることができる。
保存管理	各寺院の文化的資産内容、遍路道の実態、道標・遍路墓などの施設の状況について調査し、保存管理に関する方策を関係者と検討、2007年11月までに骨子となる考え方をまとめる。

資料)四国新聞 HP



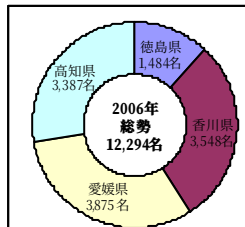
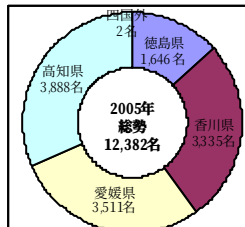
16

四国四県での連携した取組：88クリーンウォーク四国

・2003年から、四国四県で道路沿道等をボランティアで一斉清掃する「88クリーンウォーク」が行われている。2006年は総勢12,294名が参加している。



88クリーンウォーク県別参加者数



資料)四国地方整備局HP

17

四国と他地域の交流・連携

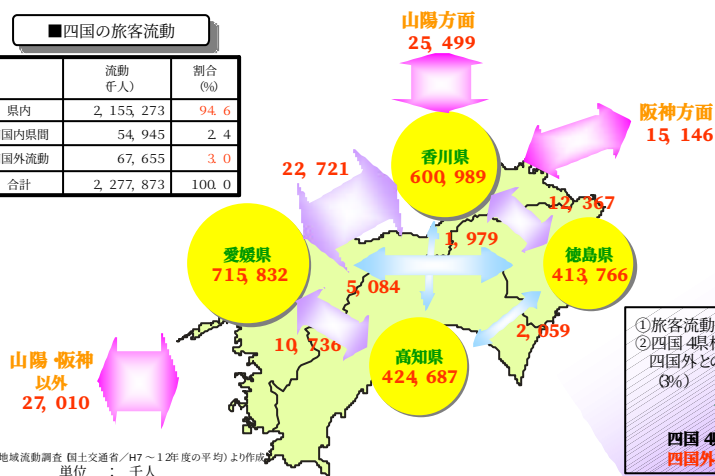
四国内の県間移動より多い四国外と旅客移動

四国内、及び四国と他地域の旅客流動における特徴としては、

1. 旅客流動量の95%が県内流動量で占められる
2. 県外流動量は、四国内の県間流動よりも四国外との流動の方が大きい

■四国の旅客流動

	流動 (千人)	割合 (%)
県内	2,155,273	94.6
四国内県間	54,945	2.4
四国外流動	67,655	3.0
合計	2,277,873	100.0



- ①旅客流動の95%が県内流動
- ②四国4県相互の県間流動よりも四国外との流動の方が大きい(3%)

四国4県は、四国内より四国外を向いている

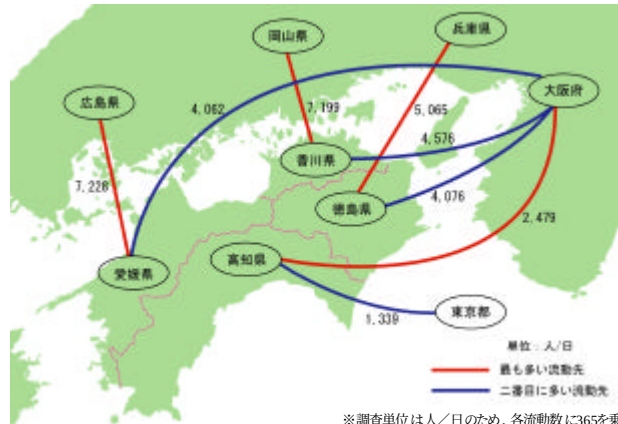
資料：旅客地域流動調査(国土交通省/H7～12年度の平均)より作成
単位：千人

18

四国のブロック間流動の現状

・四国地域における四国地域外への旅客流動をみると、高知県は大阪府、香川県は岡山県、徳島県は兵庫県、愛媛県では広島県と最も結びつきが強い地域が各県で異なっている。

四国各県から四国地域外への旅客流動状況 全手段



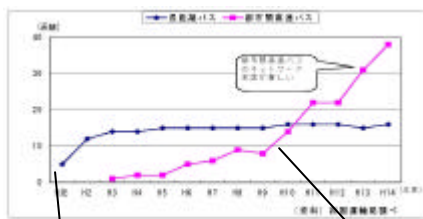
※調査単位は人/日のため、各流動数に365を乗じて年間の流動数を算出。
 出典 国土交通省 第3回全国幹線旅客純流動調査 2000年

19

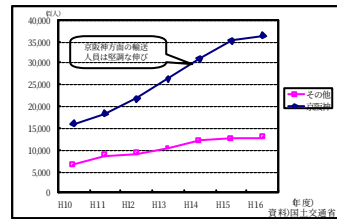
高速バス利用の増加

昭和63年の瀬戸中央自動車道供用を契機に四国4県庁所在都市と首都圏等を結ぶ長距離高速バスの運行が開始された。
 隣県などの県庁所在都市とを結ぶ都市間高速バスの運行は、平成9年以降大幅に増加している。
 ・方面別の輸送人員では、京阪神方面が堅調に増加している。

四国における高速バス系統数の推移



方面別の高速バス輸送人員の推移



20

道路整備による四国内の交流促進

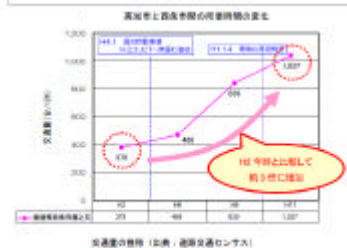
・寒風山道路の整備により、高知市（中央地方生活圏）～西条市 新居浜（西条地区地方生活圏）の所要時間は約40分の短縮が図られた。

・このため、交通量が大幅に増加するなど、両地域間の交流が高まっている。

特に、高知県大川村からの五日市（西条市）への出典等県境を越えた連携の取り組みが進められている。



高知市と西条市の位置関係



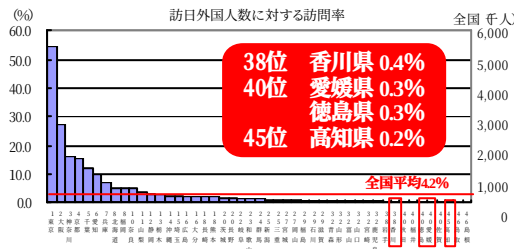
五日市（西条市イベント）における高知県大川村産品の店にぎわいの状況

出典 四国地方整備局 HP <http://www.skr.mlit.go.jp/road/ir/sir/value/vtable/ichiran15.html#zigoheyuka>

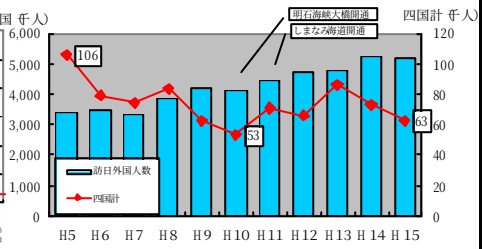
四国の観光動向（外国人来訪者数）

・四国4県の訪日外国人数に対する訪問率は、全国平均4.2%を大きく下回る。
 ・日本への訪日外国人数は増加しているが、四国の訪日外国人数は、H5年106千人からH15年63千人と全国に対する四国の比率H5年3%→H15年1%）と減少傾向である。

訪日外国人数に対する訪問率



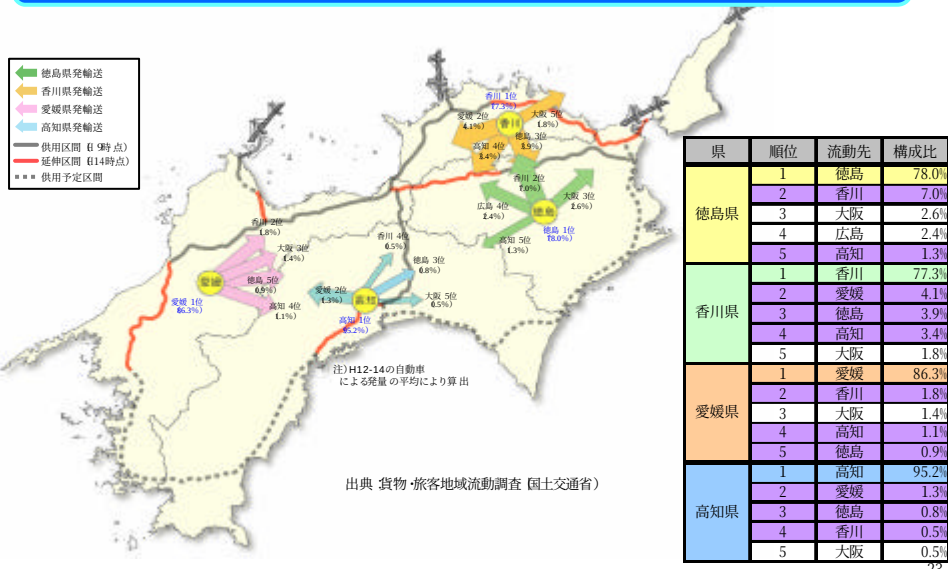
日本と四国の外国人来訪者数の推移



出典：訪問率「(独) 国際観光振興機構 (JNTO)」

四国内外の物流の状況

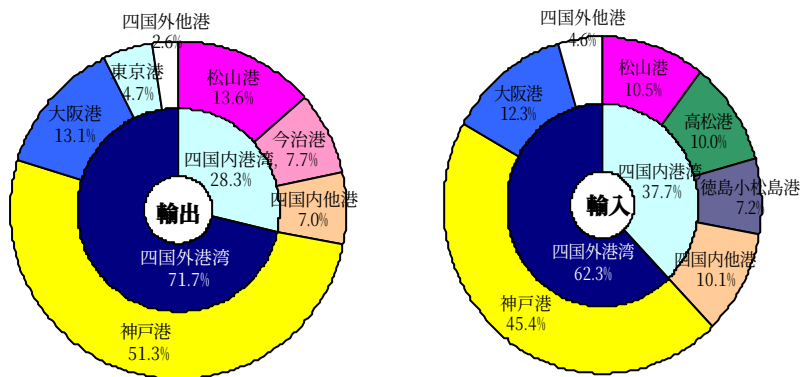
・四国内から発生する貨物の物流状況は、各県とも自県内への流動がほとんどの割合を占めている。県外への流動先は四国内が多く、また大阪、広島も上位となっている。



四国輸出入貨物を取り扱う港湾

・四国で生産・消費されている物資の多くが、四国外の港湾で荷揚げ・荷おろしされている。

船積港・船卸港別コンテナ貨物シェア (生産・消費地域：四国)



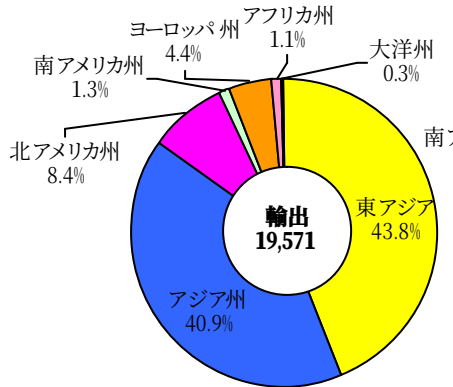
出典：平成15年全国輸出入コンテナ貨物流動調査 (建報値)

海外との物流の状況（香川県発着輸出入貨物量）

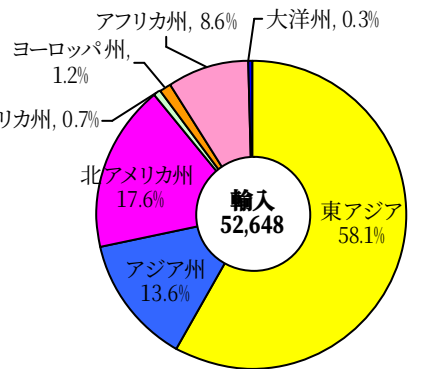
香川県発着のコンテナ貨物の流動状況は、アジア（東アジアおよびアジア州）の占める割合が高く、特に輸入における東アジアの占める割合は約6割にのぼる。

香川県を生産地とする輸出コンテナ貨物量（消費地別）

香川県を消費地とする輸出コンテナ貨物量（生産地別）



単位：トン／月



単位：トン／月

資料）平成15年全国輸出入コンテナ貨物流動調査

25

Ⅲ. ボランティアを活かしたコミュニティの再生 【ボランティアリズム】

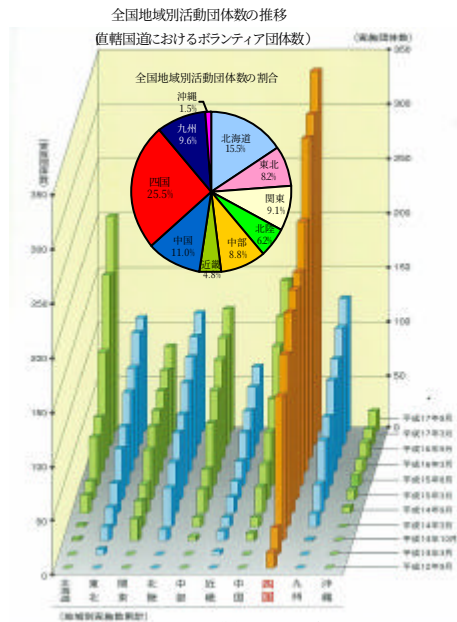
26

四国に多いボランティアサポート

四国は他の地域に比べ、ボランティアサポート数が突出して多い。
 ・登録団体の約半数が住民団体である。
 ・四国では、地域活動への潜在的需要が高いといえる。



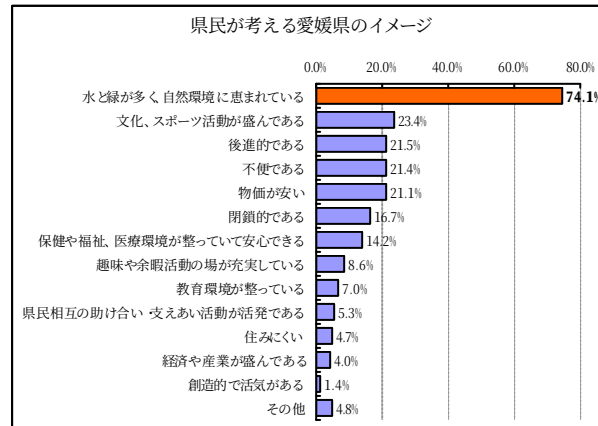
資料)四国地方整備局道路部HP



IV. 四国の美しさを活かした魅力ある地域づくり 【地域住民の意識・自信】

地域住民の意識・自信

愛媛県民へのアンケート調査では、県のイメージとして、7割以上の人が、水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と回答。
県の豊かな自然環境を誇りに感じていることがうかがえる。



資料 県民生活に関する世論調査について（愛媛県、H17）

29

IV. 四国の美しさを活かした魅力ある地域づくり 魅力ある地域資源】

30

四国の魅力（名所、祭り、食文化）

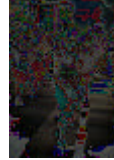
四国は、八十八箇所巡りや阿波踊り、さめきうどんなど人・風景・祭り・食といった豊かな観光資源がある。



四国八十八箇所



松山城（愛媛県）



阿波おどり（徳島県）



よさこい祭り（高知県）



うだつの町並み（徳島県）



宇和海海中公園（愛媛県）



さめきうどん（香川県）



阿波尾鳥（徳島県）



瀬戸大橋



四万十川（高知県）



ジャコ天（愛媛県）



皿鉢料理（高知県）

31

四国の豊かな自然資源

四国は、四方を海に囲まれ美しい海岸線や険しい地形に深く刻まれた溪谷、豊かな緑と清流など自然資源が豊富である。



梶原の棚田千枚田（高知県）



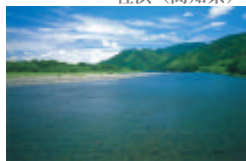
桂浜（高知県）



鳴門の渦潮（徳島県）



祖谷溪谷（徳島県）



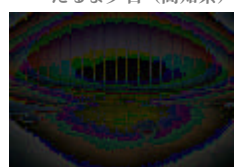
四万十川（高知県）



だるま夕日（高知県）



大歩危・小歩危（徳島県）



瀬戸内海（香川県）

32

四国の文化遺産

四国は、「もてなし文化」など独自の風土や数多くの文化遺産がある。



金刀比羅宮（香川県）



道後温泉（愛媛県）



内子（愛媛県）



栗林公園（香川県）



かずら橋（徳島県）



脇町（徳島県）

23

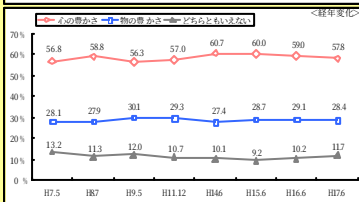
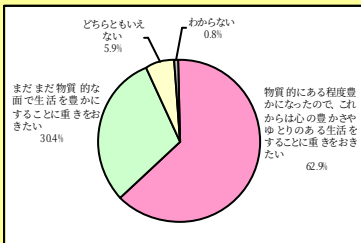
V. 四国における豊かさ、ライフスタイルのあり方 【郷土愛、地域力、豊かさ】

24

今後の暮らし方、生活の豊かさについて

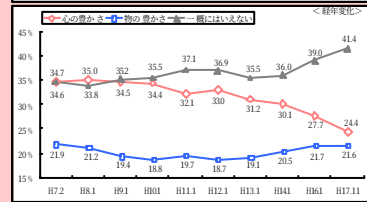
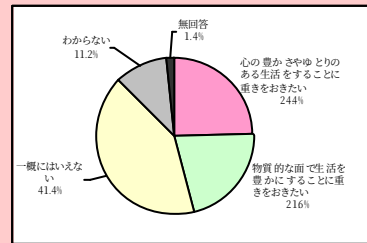
・全国では、「心の豊かさやゆとり」に重きを置く傾向にある。愛媛では、「心の豊かさやゆとり」から、「物の豊かさ」に重きを置く傾向が見られる。

全国国民生活に関する世論調査 (H18.10)
心の豊かさ 物の豊かさ



出典：全国国民生活に関する世論調査 内閣府、H18)

愛媛県県民生活に関する世論調査について (H17.11)
心の豊かさ 物の豊かさ



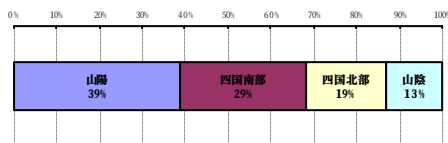
出典：県民生活に関する世論調査について 愛媛県、H17)

35

移住先としての四国の魅力

・首都圏と関西圏に住む30歳代～60歳代の男女を対象とした中四国への移住意向アンケートでは、四国南部、四万十川、四万十市への移住希望が高い。
・移住先としての中四国の魅力は、「自然環境」が半数以上を占めている。

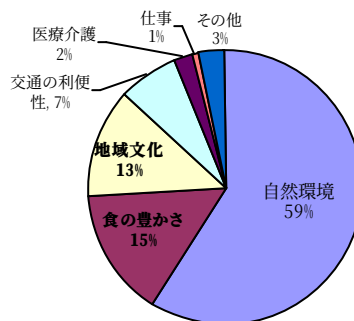
中国、四国地方へ移住するなら、どのエリアが
第1希望ですか



具体的な移住希望先は

四万十川・四万十市	30人
松山市	26人
高松市	18人
広島市	15人
倉敷市	15人
岡山市	9人
高知市	9人
尾道市	8人
宇和島市	8人

移住先として中四国のどんな点に
最も魅力を感じますか



資料：日本経済新聞2007年1月5日掲載記事より

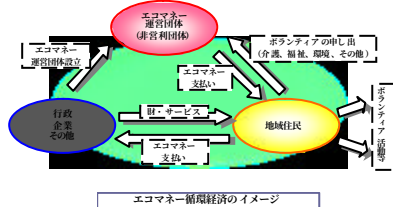
36

新しい地域内経済循環：地域通貨の普及

四国においても、新たな地域活力を向上させるためのツールとして、「地域通貨」の導入が相次いでいる。

・地域通貨を媒体として、ボランティアや市民活動、コミュニティビジネスの推進が期待される。

県	件数	主な地域通貨
徳島県	9	木頭村／ゆうず（株）きとうむら 阿波町／あわあ（阿波町タイムダラー研究会） 藍住町／時間通貨・ありがとう（藍の里） など
香川県	4	高松市／せと（高松LETS） 国分寺町／時間通貨・緑（NPO法人あじさいの会） など
愛媛県	17	愛媛県／いーよネット＜いーよ＞（愛媛県県民環境部県民活動推進課） 松山市／となり（ボランティアグループとなりぐみ） 松山市／ゆーご（NPO法人ライフサポート友佐地域通貨運営委員会） 玉川町／バンブー（ボランティアグループたまがわ） 津島町／くじら印のおたすけカード（まうていグループくじら飛行） など
高知県	13	高知市／エコメディア優（はりまや橋商店街振興組合・高知商業高校） 高知市／エンバサ（菜園場商店街振興組合） 須崎市／モリ（NPO法人土佐の森・救援隊） 西土佐村／西土佐村地域流通商品券ESTOSA＜ウェス土佐＞（西土佐村商工会・西土佐村林産振興室） 馬路村／宝札（馬路村産業建設課） など
四国計	43	



地域	北海道	東北	関東	北陸甲信越	東海	近畿	中国	九州	全国版
件数	48	54	111	70	51	103	43	74	17

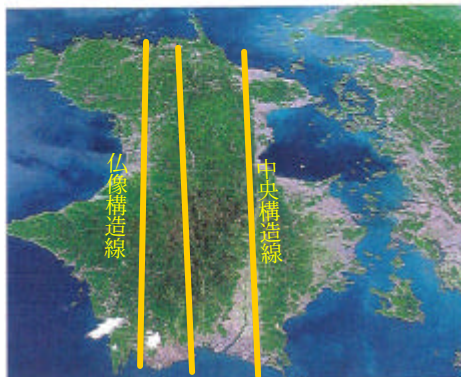
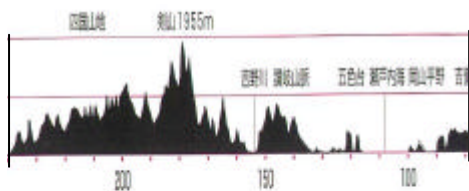
2006.12.11 現在＝全国で614件

27

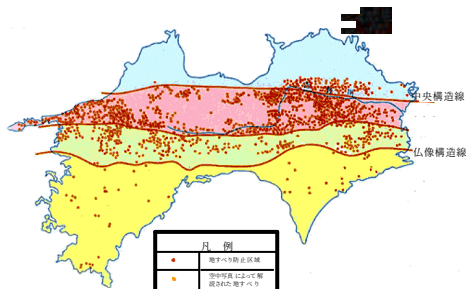
VI. 風水害、渇水被害、高潮、東南海・南海地震

38

四国の特性 急峻な地形ともろく崩れやすい地質



■地すべり防止区域等の分布

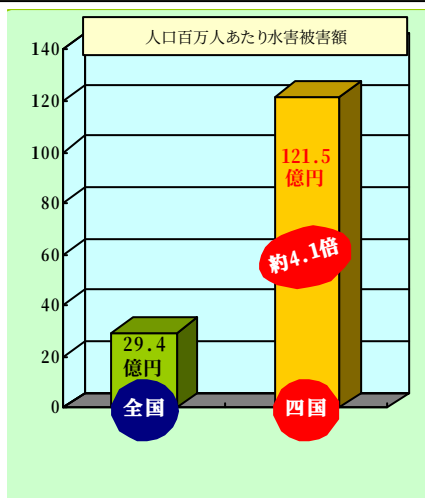


29

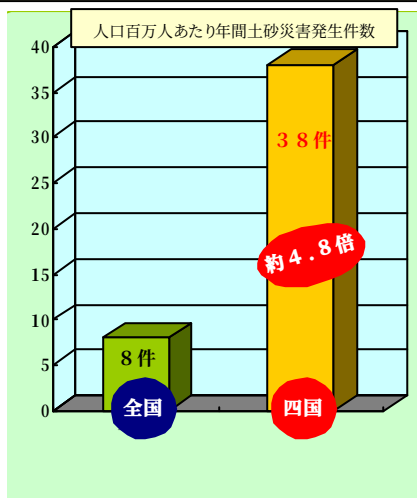
頻発する四国の水害・土砂災害

○近 10 年間の四国における水害被害額は、全国平均の **4.1 倍**。

○また、土砂災害発生件数は、全国平均の **4.8 倍**



H7～H16 (水害統計)

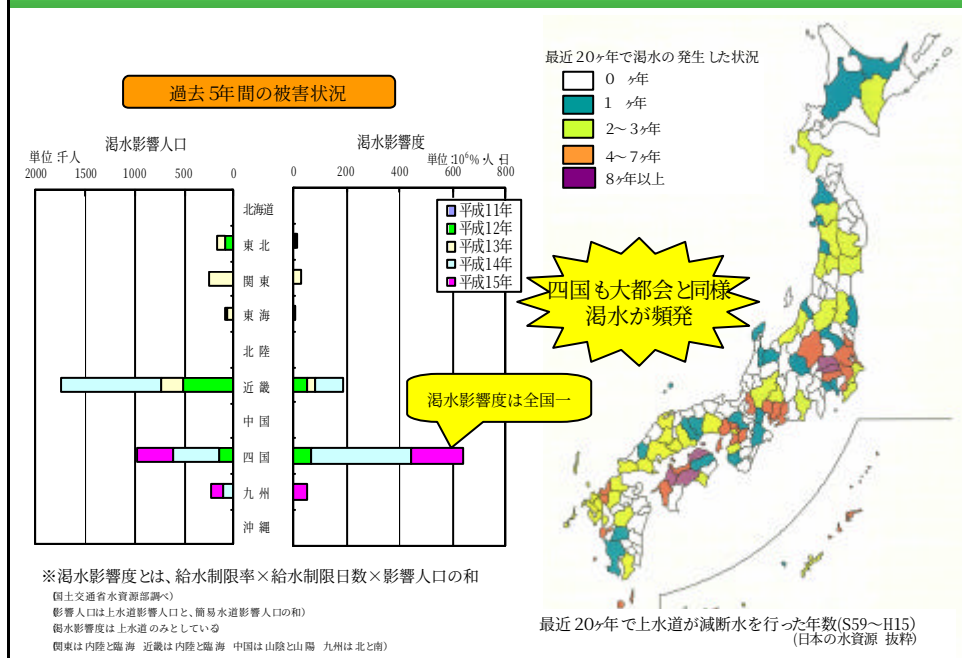


H12～H16

出典 土砂災害の実態 2004

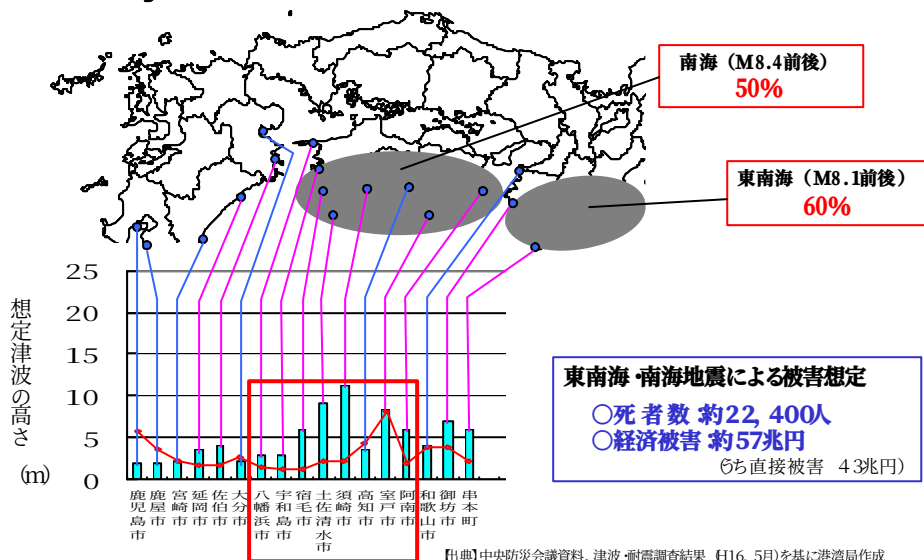
40

頻発する渇水被害



大規模自然災害発生の切迫

・東南海・南海地震に伴い、太平洋沿岸において、3m~11m程度の高さの津波の来襲が想定されている。



頻発する高潮被害

頻発する高潮により甚大な被害が発生している。平成16年8月には、高松市において、既往最高潮位を約50cm上回る潮位を記録し、1万5千を超える家屋が浸水被害を受けた。

○台風16号（平成16年8月30日～31日）

- ・香川県高松市で観測最高潮位 4.36m（既往最高 3.84m）を観測
- ・全国20都府県で床下・床上浸水被害約46,625戸が発生



高潮による浸水 香川県 高松市

○台風18号（平成16年9月7日）

- ・広島で60.2m/sなど過去最大の瞬間最大風速を記録
- ・全国20都府県で床下・床上浸水被害約8,360戸が発生



高潮による浸水 兵庫県 神戸市

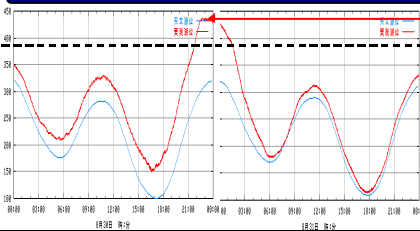
○台風23号（平成16年10月19日）

- ・激しい高波により、菜生海岸において海岸堤防が約30mにわたって倒壊。越波等により背後の住宅家屋13棟が崩壊し、3名が死亡、4名が負傷する被害が発生



崩壊した家屋 高知県 室戸市 菜生海岸

台風16号における高松市の潮位観測記録



今回最高潮位 +4.36m

既往最高潮位 +3.84m

既往最高潮位を約50cm超過

高松市の浸水被害

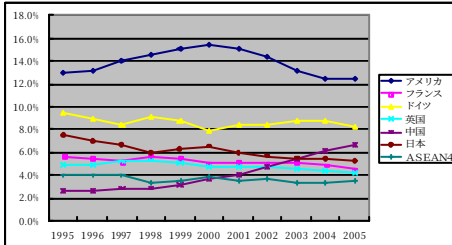
	浸水家屋戸数
台風16号(8月30日)	15,561
台風18号(9月7日)	293

VII. 東アジアとの結びつけを強める四国地域

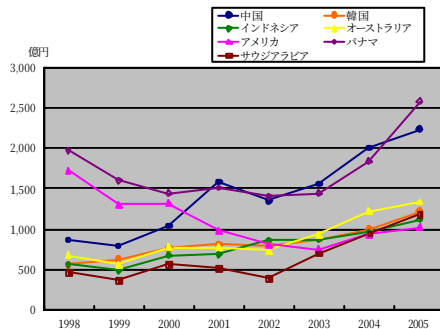
世界の貿易構造の変化と四国の関わり ①

近年、中国の輸出入が急成長しており、日本の国際貿易関係においても2004年にはアメリカを逆転し、以後その差は拡大しつつある。
 四国地域では全国に先駆けて2001年に中国がアメリカを逆転し増加を続けている。

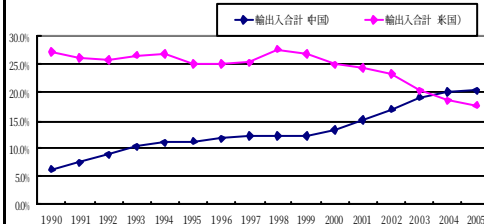
世界の貿易総額に占める国別構成比の推移



四国の輸出入動向の推移



日本の輸出入に占める中国、米国のシェアの推移

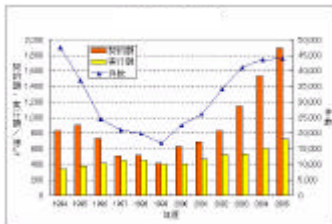


45

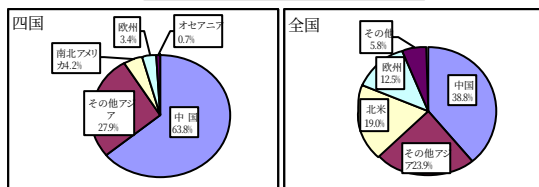
世界の貿易構造の変化と四国の関わり ②

世界の輸出生産拠点や巨大消費市場としての中国を始めとしたアジア諸国に対する投資額が軒並み増加している。
 四国地域においても、中国を始めとしたアジア諸国への企業の進出が顕著である。

世界の対中国直接投資



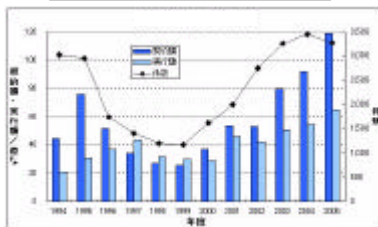
企業の進出先の状況



出典 四国経済概観

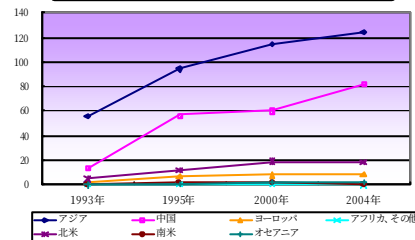
出典 海外事業活動基本調査 経済産業省

日本の対中国投資



資料 日中投資促進機構HP

四国における企業の海外進出状況

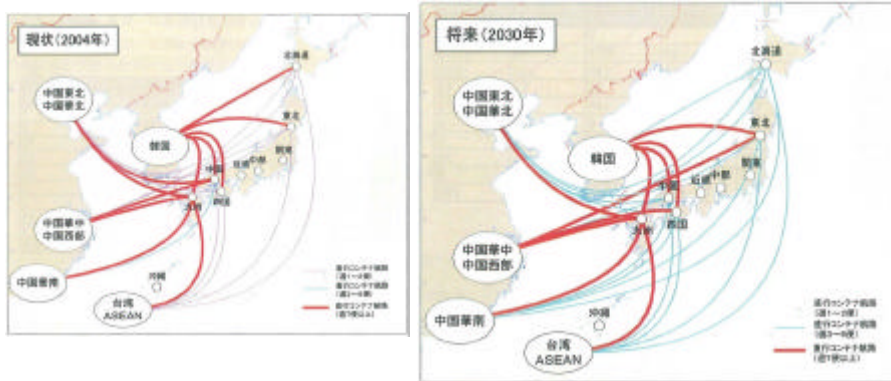


出典 四国経済概観 (平成16年)

46

四国の港湾を取り巻く状況

・地方ブロックにおける東アジア方面間の国際海上貨物ネットワークは、北海道・東北・四国ブロックと中国・台湾・ASEAN方面を結ぶ直行コンテナ航路が2004年の週1～2便から2030年の週3～6便へと増加予測がされている。



出典 現状は「Cyber Shipping Guide」(株)オーシャンコマース

将来は平成16年度「近畿ブロックを中心とした国際流動への対応の基本的方向に関する検討調査」近畿地方整備局による